

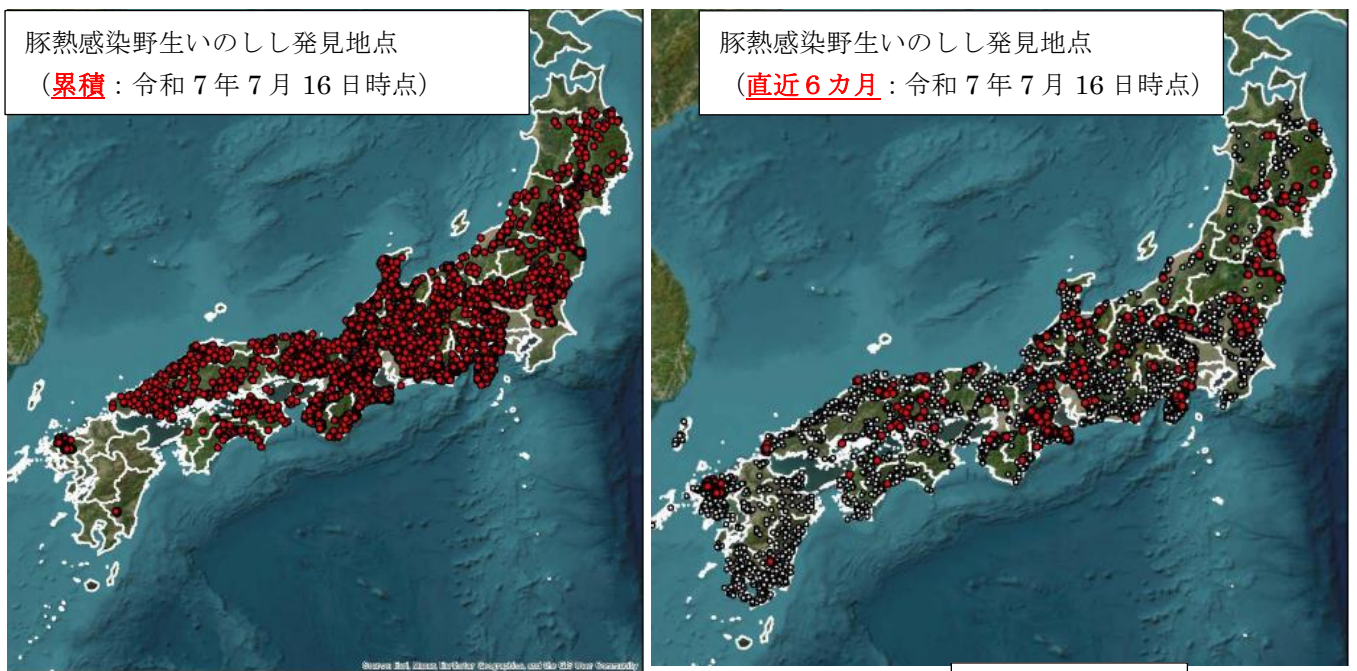
国内における豚熱の発生状況について

1. 飼養豚

- 岐阜県で26年ぶりに感染が確認された平成30年9月以降、発生農場は23都県に拡大して99事例が発生。これまでに約42.9万頭を殺処分。
※直近の発生：令和7年5月9日：国内99例目 群馬県前橋市 約460頭

2. 野生いのしし

- 40都府県（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、佐賀県、長崎県、宮崎県）で野生いのししから豚熱感染を確認



農林水産省資料



養豚場での対策

- ① 飼養豚全頭に対するワクチン接種
- ② 野生いのしし侵入防止対策(養豚場周囲での防護柵等の設置)
- ③ 飼養衛生管理基準の遵守（消毒対応等による飼養エリアへのウイルス侵入防止対策）

アフリカ豚熱の発生状況について

1. アフリカ豚熱とは

- ◇アフリカ豚熱（ASF）は、ASF ウイルスが豚やいのししに感染することによる発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病。
- ◇日本国内では、これまで本病の（いのししや飼養豚での）発生は確認されていない。
- ◇海外からの日本国内への侵入が危惧されている。
- ◇有効なワクチンや治療法はない。
- ◇アジアにおける ASF の発生状況（2025年1月3日時点）別添資料（1）
- ◇韓国における ASF の発生状況（2025年7月17日時点）別添資料（2）

2. 日本国内における空港検疫での確認事例

- ◇動物検疫所にて、ASF 発生国からの旅客が所有し、日本の到着空港で輸入が認められなかった豚肉等の一部について ASF ウイルスのモニタリング検査を実施。
- ◇令和7年6月末時点で豚肉等から202例の ASF 遺伝子陽性事例を確認。
(内4件でウイルス分離検査陽性)

訪日外客数と持込禁止品の摘発件数（携帯品）

農林水産省資料

- 令和2年の改正において家畜防疫官の質問・検査等の権限を強化したことに伴い、**違反畜産物の摘発件数も増加**。令和6年の違反畜産物摘発件数は**20.2万件**（自主放棄、自主申告による廃棄を含む）。
- 動物検疫所では、空港・国際郵便局で摘発された違反畜産物の一部についてアフリカ豚熱ウイルスのモニタリング検査を実施。これまでに**携帯品181例、国際郵便物83例でアフリカ豚熱ウイルス遺伝子陽性が確認されている状況**。

訪日外客数と持込禁止品の摘発件数



アフリカ豚熱ウイルス遺伝子陽性の確認

アフリカ豚熱ウイルス(ASFV)検査陽性事例 (2018年9月～2025年2月末時点)

輸入経路	ASFV陽性件数
旅客携帯品	181 例
国際郵便物	83 例

携帯品検査における家畜伝染病予防法違反 (輸入禁止品の持込み)による逮捕事例

逮捕日	国籍	違法持込み日・違反品
令和6年2月12日	ミャンマー人 1名	令和5年1月から令和6年1月にかけて複数回 (成田空港及び羽田空港、ソーセージ等 計22.45kg)



▲これまでに携帯品として輸入禁止品が持ち込まれた違反事例

本県における野生いのししでの豚熱・アフリカ豚熱感染対策について

◇本県においても死亡又は捕獲した野生いのししの豚熱とアフリカ豚熱の両疾病について遺伝子検査を実施。(アフリカ豚熱については、いずれも遺伝子陰性を確認)
(※ジビエ利用(自家消費除く)の捕獲野生イノシシについても、全頭、検査を実施)

▼本県における豚熱遺伝子検査の結果(R7.7.23時点)

野生イノシシにおける豚熱検査

① 死亡(平成30年9月から検査開始)

検査年月	陽性頭数(市町村別) ※括弧内は検査頭数																				計	豚熱 陽性率		
	仙南地域										仙台地域					大崎地域			栗原地域	登米地域			石巻地域	南三陸町
	白石市	角田市	柴田町	村田町	大河原町	川崎町	蔵王町	七ヶ宿町	丸森町	仙台市	亶理町	山元町	大和町	富谷市	大衡村	大崎市	加美町	色麻町	栗原市	登米市			石巻市	南三陸町
H30年度			(1)			(1)			(10)			(1)				(1)		(1)					0 (15)	0%
R1年度			(1)				(3)								(2)								0 (6)	0%
R2年度	(1)								(1)						(1)				(1)				0 (4)	0%
R3年度	6 (7)	1 (2)	2 (2)	(1)	3 (4)	5 (5)	15 (16)	3 (3)	9 (9)	(4)	1 (1)			(1)	(1)							45 (56)	80%	
R4年度		1 (1)	1 (1)				1 (1)			(3)				1 (1)	1 (1)			1 (1)					6 (9)	67%
R5年度	(1)	(2)							2 (2)				(1)			3 (3)							5 (9)	56%
R6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (1)	0%
R7年4月																							0	—
5月												(1)											0 (1)	—
6月																							0	—
7月																							0	—
R7年度小計											(1)												0 (1)	—
計	6 (9)	2 (5)	3 (5)	0 (1)	3 (4)	5 (6)	16 (20)	3 (3)	11 (11)	0 (18)	1 (1)	0 (0)	0 (3)	1 (2)	1 (5)	3 (4)	0 (1)	1 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	56 (101)	55%

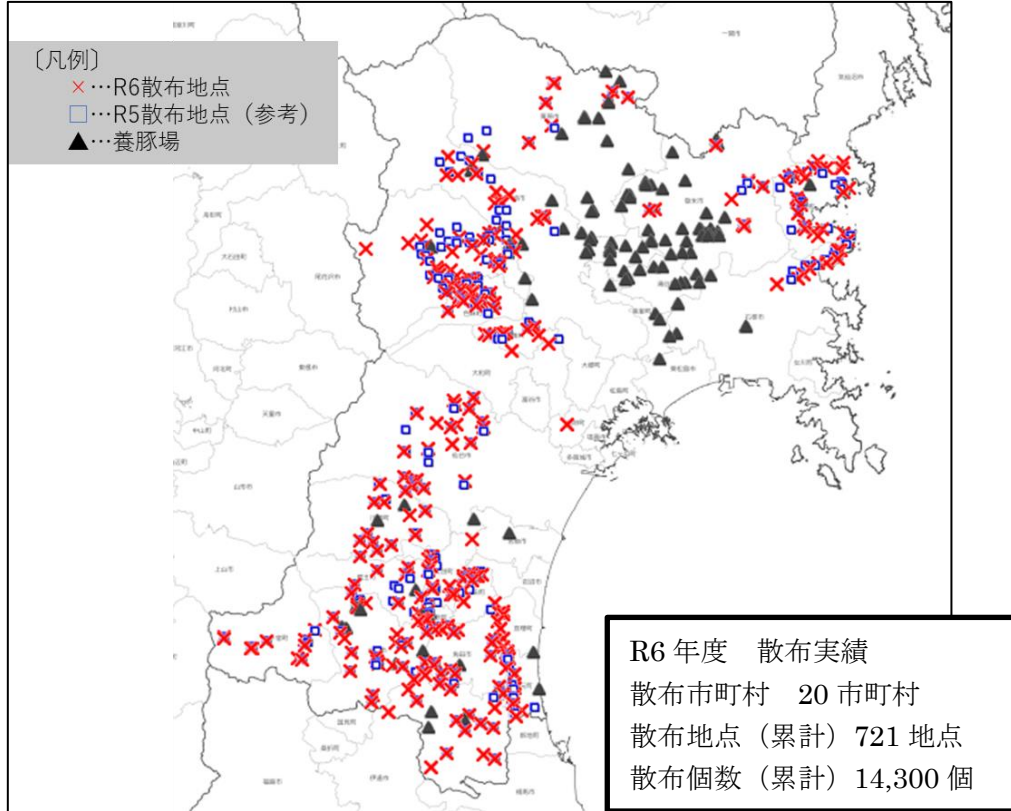
② 捕獲(令和2年1月から検査開始)

検査年月	陽性頭数(市町村別) ※括弧内は検査頭数																				計	豚熱 陽性率		
	仙南地域										仙台地域					大崎地域			栗原地域	登米地域			石巻地域	南三陸町
	白石市	角田市	柴田町	村田町	大河原町	川崎町	蔵王町	七ヶ宿町	丸森町	仙台市	亶理町	山元町	大和町	富谷市	大衡村	大崎市	加美町	色麻町	栗原市	登米市			石巻市	南三陸町
R1年度				(4)					(4)														0 (8)	0%
R2年度	(43)			(44)					(39)														0 (135)	0%
R3年度	6 (21)	5 (20)		5 (58)		1 (15)	14 (29)	13 (22)	19 (140)	5 (25)					4 (19)	9 (40)		2 (39)				83 (428)	19%	
R4年度	8 (63)	3 (17)	3 (9)	4 (46)	(8)	(8)	1 (9)	(24)	15 (47)	5 (21)	(3)	(2)			(7)	1 (41)	(14)	5 (33)	2 (13)			47 (365)	13%	
R5年度	4 (23)	(14)	(5)	(17)	1 (15)	4 (9)	3 (17)	7 (10)	2 (31)	3 (13)	2 (10)	(2)			(5)	19 (69)	3 (27)	(15)	2 (15)	4 (19)	(4)	(5)	54 (325)	17%
R6年度	1 (23)	6 (15)	0 (5)	1 (13)	0 (4)	2 (4)	3 (26)	0 (10)	7 (29)	5 (14)	2 (11)	0 (1)	0	0	0 (5)	22 (176)	1 (20)	0	1 (10)	1 (20)	0 (1)	0 (5)	52 (392)	13%
R7年4月	2 (2)			0 (4)					1 (3)							2 (4)							5 (13)	38%
5月	1 (1)								1 (2)							0 (4)							2 (7)	29%
6月	1 (5)			2 (7)		(1)			2 (4)							0 (11)							5 (28)	18%
7月	(1)			(4)		2 (4)	1 (1)								1 (16)								4 (26)	15%
R7年度小計	4 (9)			2 (15)		2 (5)	1 (1)		4 (9)						3 (35)								16 (74)	22%
計	23 (142)	14 (66)	3 (19)	12 (137)	1 (27)	9 (50)	22 (82)	20 (66)	47 (199)	18 (73)	4 (24)	0 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (10)	48 (196)	14 (128)	0 (29)	10 (97)	7 (52)	0 (5)	0 (10)	252 (1727)	15%

	陽性頭数	(検査頭数)	陽性率
死亡	56	(101)	55.4%
捕獲	252	(1,727)	14.6%
計	308	(1,828)	16.8%

野生いのししにおける豚熱感染の拡大防止のための経口ワクチン散布

- ◇宮城県では、関係市町や県猟友会、畜産関係団体とともに令和3年10月20日に「宮城県豚熱経口ワクチン対策協議会」を設立し、豚熱ウイルスが野生いのししを介して養豚場周辺に拡散するリスクを低減させるため、野生いのししに対する豚熱経口ワクチンの散布を実施。



【参考】 野生イノシシにおける豚熱抗体検査結果

検査年度	検査地域	抗体陽性頭数	検査頭数	抗体陽性率(%)
		A	B	(A/B) × 100
令和3年度	県北地域	20	98	20.4
	仙台	6	25	24.0
	県南地域	63	303	20.8
	計	89	426	20.9
令和4年度	県北地域	71	108	65.7
	仙台	9	21	42.9
	県南地域	115	236	48.7
	計	195	365	53.4
令和5年度	県北地域	73	141	51.8
	仙台	4	13	30.8
	県南地域	59	153	38.6
	計	136	307	44.3
令和6年度	県北地域	44	93	47.3
	仙台	8	14	57.1
	県南地域	54	141	38.3
	計	106	248	42.7

野生いのししにおけるアフリカ豚熱ウイルス侵入防止に向けた啓発活動

海外からの旅行者の皆様へ

アフリカ豚熱ウイルスの侵入防止にご協力をお願いします。

- 1 肉を含む食品は、
野外で絶対に捨てないでください！
- 2 靴の土は落としてから外出しましょう。
- 3 家畜がいる施設に
近寄らないようにしましょう。
- 4 野生イノシシや罾・柵がある地点に
近寄らないようにしましょう。
- 5 消毒ポイントでは
指示に従ってください。



宮城県

宮城県農政部家畜防疫対策室
TEL : 022-211-2854 FAX : 022-211-2859

原野・山林に立ち入られる皆様へ

アフリカ豚熱ウイルスの侵入防止にご協力をお願いします。

- 1 肉を含む食品は、
野外で絶対に捨てないでください！
- 2 靴の土は入山前、下山時にしっかり
落とし、タイヤの洗浄をしましょう。
- 3 家畜がいる施設や野生イノシシ
の罾や柵に近寄らないようにしましょう。
- 4 消毒ポイントや洗浄ポイント
では指示に従ってください。
- 5 イノシシの死体を見つけたら
管轄の自治体に連絡して下さい。



宮城県

宮城県農政部家畜防疫対策室
TEL : 022-211-2854 FAX : 022-211-2859

登山者・キャンパーの皆様へ

アフリカ豚熱ウイルスの侵入防止にご協力をお願いします。

- 1 肉を含む食品は、
野外で絶対に捨てないでください！
- 2 靴の土は入山前、下山時にしっかり
落としましょう。
- 3 家畜がいる施設や野生イノシシ
の罾や柵に近寄らないようにしましょう。
- 4 消毒ポイントや洗浄ポイント
では指示に従ってください。
- 5 イノシシの死体を見つけたら
管轄の自治体に連絡して下さい。



宮城県

宮城県農政部家畜防疫対策室
TEL : 022-211-2854 FAX : 022-211-2859

県関係課室、関係団体から海外旅行者、狩猟者、登山者向けの啓発リーフレットを配布又はホームページ掲載により発信しています。

【県関係課室】

農政部	家畜防疫対策室
	農山漁村なりわい課
環境生活部	自然保護課
経済商工観光部	観光戦略課
土木部	空港臨空地域課

【関係団体】

一般社団法人	宮城県猟友会
一般社団法人	宮城県畜産協会
公益社団法人	宮城県獣医師会

アジアにおけるアフリカ豚熱の発生報告状況

2025年1月3日時点

■ : 2018年8月以降発生があった国、地域

ブータン
初発生：2021年5月6日
豚飼養頭数：約2万2954頭

ネパール
初発生：2022年3月19日
豚飼養頭数：約158万8838頭

インド
初発生：2020年1月26日
豚飼養頭数：約882万8127頭

バングラデシュ
初発生：2023年11月13日

ラオス
初発生：2019年6月2日
豚飼養頭数：約446万8192頭

タイ
初発生：2021年11月25日
豚飼養頭数：約774万3876頭

カンボジア
初発生：2019年3月22日
豚飼養頭数：約207万3815頭

スリランカ
初発生：2024年10月25日
豚飼養頭数：約9万9010頭

マレーシア
初発生：2021年2月8日
豚飼養頭数：約185万7839頭

シンガポール
初発生：2023年2月5日

インドネシア
初発生：2019年9月4日
豚飼養頭数：約801万1776頭

東ティモール
初発生：2019年9月9日
豚飼養頭数：約24万6629頭

ミャンマー
初発生：2019年8月1日
豚飼養頭数：約687万頭

モンゴル
初発生：2019年1月9日
豚飼養頭数：約3万577頭

北朝鮮
初発生：2019年5月23日
豚飼養頭数：約226万2965頭

韓国
初発生：2019年9月16日
豚飼養頭数：約1121万6566頭

中国
初発生：2018年8月3日
豚飼養頭数：約4億4922万頭

香港
初発生：2019年5月2日
豚飼養頭数：約11万1493頭

フィリピン
初発生：2019年7月25日
豚飼養頭数：約994万3119頭

ベトナム
初発生：2019年2月1日
豚飼養頭数：約2355万3400頭

出典：WOAH-WAHIS(Animal disease eventsおよびQuantitative data)、各国当局HP等
発生日：WOAH報告による発生が確認された日
飼養頭数：FAO統計(2021)参照

別添資料1

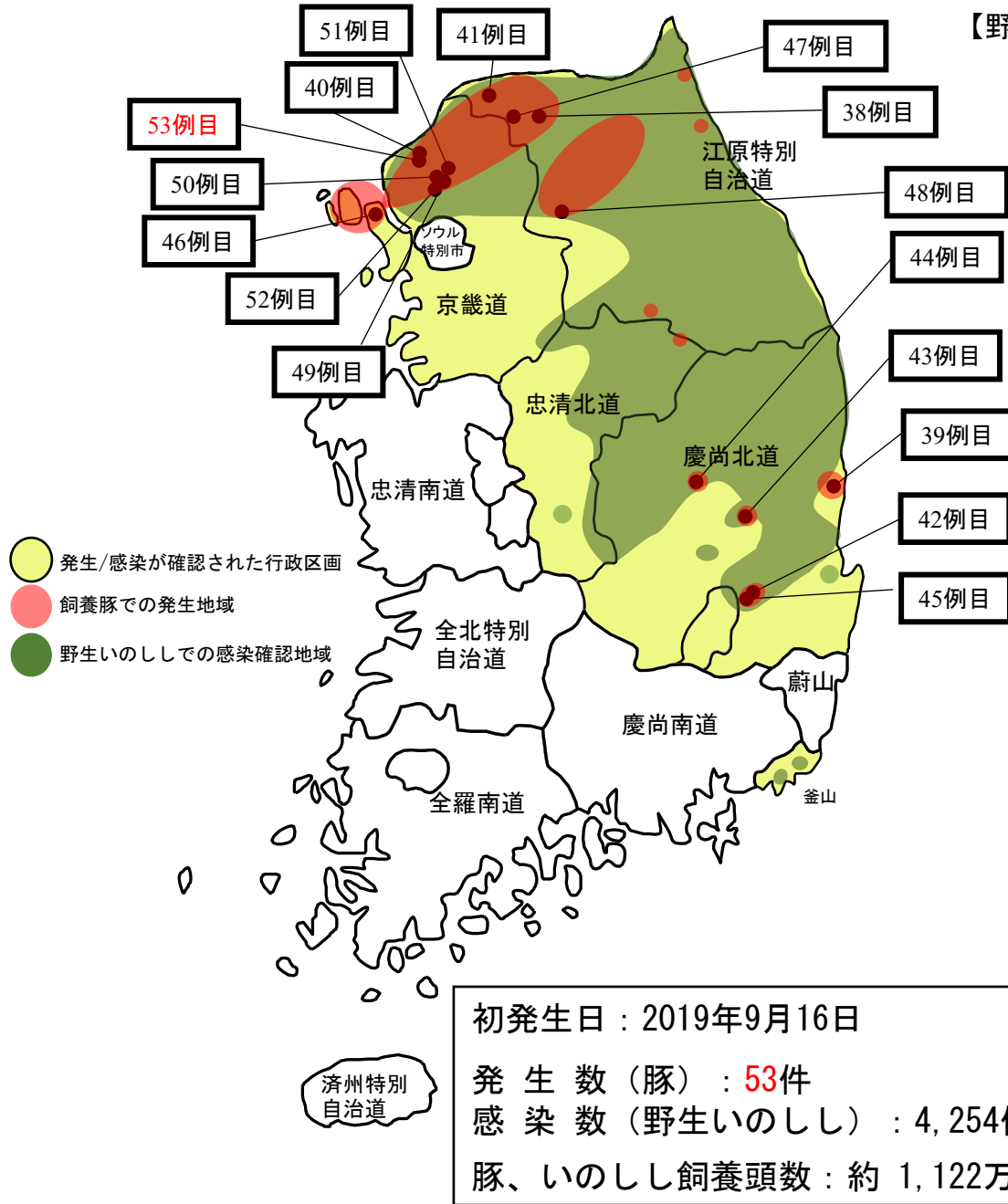
【飼養豚での事例】

事例	発生日	発生地
1	2019/9/16	京畿道坡州市
2	2019/9/17	京畿道漣川郡
3	2019/9/23	京畿道金浦市
4	2019/9/23	京畿道坡州市
5	2019/9/24	仁川広域市江華郡
6	2019/9/25	仁川広域市江華郡
7	2019/9/25	仁川広域市江華郡
8	2019/9/26	仁川広域市江華郡
9	2019/9/26	仁川広域市江華郡
10	2019/10/1	京畿道坡州市
11	2019/10/1	京畿道坡州市
12	2019/10/2	京畿道坡州市
13	2019/10/2	京畿道金浦市
14	2019/10/9	京畿道漣川郡
15	2020/10/8	江原特別自治道華川郡
16	2020/10/9	江原特別自治道華川郡
17	2021/5/4	江原特別自治道寧越郡
18	2021/8/7	江原特別自治道高城郡
19	2021/8/15	江原特別自治道麟蹄郡
20	2021/8/25	江原特別自治道洪川郡
21	2021/10/5	江原特別自治道麟蹄郡
22	2022/5/26	江原特別自治道洪川郡
23	2022/8/18	江原特別自治道楊口郡
24	2022/9/18	江原特別自治道春川市
25	2022/9/19	江原特別自治道春川市
26	2022/9/28	京畿道金浦市
27	2022/9/28	京畿道坡州市
28	2022/11/9	江原特別自治道鉄原郡
29	2023/1/5	京畿道抱川市
30	2023/1/11	江原特別自治道鉄原郡
31	2023/1/22	京畿道金浦市
32	2023/2/11	江原特別自治道襄陽郡
33	2023/3/19	京畿道抱川市
34	2023/3/29	京畿道抱川市
35	2023/3/31	京畿道抱川市
36	2023/4/13	京畿道抱川市
37	2023/7/18	江原特別自治道鉄原郡
38	2023/9/25	江原特別自治道華川郡
39	2024/1/15	慶尚北道盈徳郡
40	2024/1/18	京畿道坡州市
41	2024/5/21	江原特別自治道鉄原郡
42	2024/6/15	慶尚北道永川市
43	2024/7/2	慶尚北道安東市
44	2024/7/7	慶尚北道醴泉郡
45	2024/8/12	慶尚北道永川市
46	2024/8/30	京畿道金浦市
47	2024/10/13	江原特別自治道華川郡
48	2024/11/3	江原特別自治道洪川郡
49	2024/12/16	京畿道楊州市
50	2025/1/20	京畿道楊州市
51	2025/1/28	京畿道楊州市
52	2025/3/16	京畿道楊州市
53	2025/7/16	京畿道坡州市

韓国におけるアフリカ豚熱の発生状況

2025年7月17日時点

【野生イノシシでの事例】(単位: 件)



道	市/郡/区	発生数
京畿道	坡州市	100
	漣川郡	423
	抱川市	94
	加平郡	62
	鉄原郡	37
江原特別自治道	華川郡	431
	春川市	222
	楊口郡	92
	麟蹄郡	158
	高城郡	12
	寧越郡	260
	襄陽郡	36
	江陵市	111
	洪川郡	63
	平昌郡	46
	束草市	1
	旌善郡	181
横城郡	63	
三陟市	108	
原州市	83	
太白市	19	
東海市	8	
忠清北道	丹陽郡	202
	堤川市	137
	報恩郡	73
	槐山郡	12
	陰城郡	1
慶尚北道	忠州市	115
	蔚山広域市	128
	蔚珍郡	68
	聞慶市	80
	榮州市	22
	醴泉郡	19
	奉化郡	90
	盈徳郡	124
	安東市	108
	英陽郡	107
	青松郡	117
	浦項市 北区	88
釜山広域市	永川市	61
	義城郡	49
	釜山沙上区	13
	釜山西区	1
大邱広域市	釜山沙下区	10
	釜山金井区	1
	軍威郡	18
合計	4,254	

初発生日：2019年9月16日
 発生数(豚)：53件
 感染数(野生いのしし)：4,254件
 豚、いのしし飼養頭数：約 1,122万頭

※ 韓国当局公表資料を元に作成
 飼養頭数：FAO統計(2021)による
 ※ 赤字は2025年7月1日時点から更新